

前期末試験解答用紙 (5E 計算機応用)

電気工学科

学籍番号

氏名

2007年8月3日

1 二分法

[問 1] 20点

閉区間 $[a, b]$ において、連続な関数 $f(x)$ の値が、

$$f(a)f(b) < 0 \quad (1)$$

の場合、 $f(\alpha) = 0$ となる α がその区間にある。二分法はこの性質を利用して近似解を求める。実際の数値計算のプログラムでは、区間 $[a, b]$ の中点 c を計算し、 $f(a)f(c)$ と $f(b)f(c)$ のうち負になるほうを新たな区間 $[a, b]$ とする。 c は新たな a または b になる。この操作を行う毎に、解が存在する区間の領域が半分になる。これを繰り返すことにより、任意の精度で方程式の近似解を求めることができる。これが、二分法の計算原理である。

[問 2] ア: 20点 イ: 10点

```
while(b-a > EPS){
  c=(a+b)/2;
  if(func(c)*func(a) < 0){
    b=c;
  }else{
    a=c;
  }
}
```

```
y = x*x-1-sin(x);
```

2 ニュートン法

[問 1] 20点

ニュートン法は，方程式 $f(x) = 0$ の近似解を求める方法の一つである．ある実数解を持つ関数 $f(x)$ をグラフにすると図のように書ける．この関数 $f(x)$ と x 軸の交点の x 座標がこの方程式の解となる．

ある近似解 x_n が求められたとすると， $(x_n, f(x_n))$ での接線が， x 軸と交わる点 x_{n+1} はさらに精度の良い近似解となる．そして，次の接線が x 軸と交わる点を次の近似解を x_{n+1} とする．図から分かるように，これを繰り返すと，非常に精度の良い近似解が得られる．

x_n と x_{n+1} の関係を示す漸化式は，接線の式

$$y - f(x_i) = f'(x_i)(x - x_i)$$

から求める． $y = 0$ の時の x の値が x_{i+1} なので， x_{i+1} は，

$$x_{i+1} = x_i - \frac{f(x_i)}{f'(x_i)}$$

となる．これをニュートン法の漸化式である．

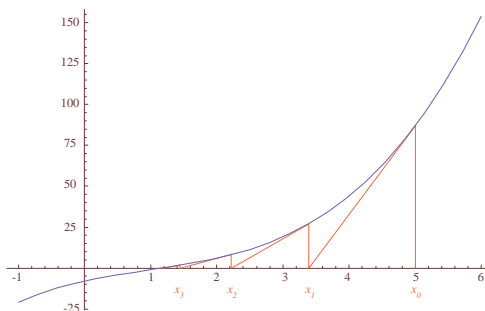


図 1: ニュートン法の収束

[問 2] 10点

方程式 $f(x) = 0$ の真の解を α とする．真の解 α と $i+1$ 番目の近似解との x_{i+1} との差の絶対値，すなわち誤差は，

$$\begin{aligned} |\alpha - x_{i+1}| &= \left| \alpha - x_i + \frac{f(x_i)}{f'(x_i)} \right| \\ &\quad \alpha \text{ の周りでテイラー展開する．} \\ &= \left| \alpha - x_i + \frac{f(\alpha)}{f'(\alpha)} + \left[1 - \frac{f(\alpha)f''(\alpha)}{f'^2(\alpha)} \right] (x_i - \alpha) + O((\alpha - x_i)^2) \right| \\ &\quad f(\alpha) = 0 \text{ なので} \\ &= |O((\alpha - x_i)^2)| \end{aligned}$$

となる．これが，ニュートン法の近似解の収束を表す式である．

先に示した式の通り，ニュートン法の誤差は二乗で小さくなる．例えばニュートン法の 3 回の計算で誤差が 10^{-4} だったとすると，さらに 1 回漸化式を計算すると誤差は 10^{-8} になる．

[問 3] 20点

```

#include <stdio.h>
#include <math.h>
#define IMAX 50
#define EPS (1.0e-15)          /* precision of calculation */

double func(double x);
double dfunc(double x);

/*=====*/
/*      main function      */
/*=====*/
int main(void)
{
    double x[IMAX+2];
    int i=-1;

    printf("\ninitial value x0 = ");
    scanf("%lf%c", &x[0]);

    do{
        i++;
        x[i+1]=x[i]-func(x[i])/dfunc(x[i]);
    }while(i<=IMAX && fabs((x[i+1]-x[i])/x[i]) >= EPS);

    if(i>=IMAX){
        printf("\n not converged !!! \n\n");
    }else{
        printf("\niteration = %d\nsolution  x = %20.15f\n\n",i,x[i+1]);
    }

    return 0;
}
/*=====*/
/*      definition function      */
/*=====*/
double func(double x)
{
    double y;

    y=x*x+x-cos(x);

    return y;
}
/*=====*/
/*      definition derived function      */
/*=====*/
double dfunc(double x)
{
    double dydx;

    dydx=2*x+1+sin(x);

    return dydx;
}

```